

【コンサートシリーズ】

# 音の境界線

プログラム・ディレクター  
細川俊夫

音楽は今、世界中に洪水のように溢れている。

私たちが、かつて持っていた「間」や「空白」は安っぽい音によって、コンクリートが流れ込むように、埋め尽くされようとしている。

沈黙に畏れを感じたり、音の内部に、生きるものの「いのち」の響きと鼓動を聴き取ることは、もうないのだろうか。

トーキョーワンダーサイトで企画されるコンサートシリーズは、優れた演奏家を主体としたものと、

若い作曲家たちが独自に企画するものによって構成される。

21世紀の初頭の今、新しい芸術音楽の領域において、日本と世界で何が起きているか。

現代人の「いのち」の響きを、トーキョーワンダーサイトの小さな窓を通して体験してみよう。

(細川俊夫)

## vol.03

### 中村功-打楽器の秘密

世界ヨーロッパの第一線で活躍する中村功が、打楽器の根本的な打ち方、触り方、奏法を解説しながら、彼の親交のある作曲家たちの作品と、即興演奏をする。彼のからだから豊かな響きが生まれてくる、その現場に立ち会おう。さらに今回は岡本太郎の作品「梵鐘・歓喜」も演奏に登場。

出演

中村功

Isao NAKAGAWA

(打楽器奏者)

細川俊夫

TOSHIO Hosokawa, Composer / Talk

(作曲家・お話)

#### programmes

細川俊夫

“線VI” 打楽器ソロのための

トーマス・ラウク

B.A.V.のための打

マウリッツィオ・カーゲル

“エクゾティカ” よりソロ

ペーター・エトヴェシュ

“トライアングル” よりティンパニソロ “雷鳴”

即興演奏

2002年7月27日 [土] 午後7時～ (開場：午後6時30分)

会場：トーキョーワンダーサイト 1階ギャラリー

定員：60人

定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。ファックスの場合は裏面のお申し込み欄にご記入下さい。